

令和8年度
かながわの遺跡展

青磁・白磁の時代と青花の時代

「出土中国陶磁の世界」

入場無料

大磯会場

大磯町郷土資料館　企画展示室
令和９年１月６日（水）～１月31日（日）

休館日　：月曜日※1月11日(月)成人の日は開館、翌１月12日(火)休館
開館時間：９時～17時（入館は16時30分まで）

茅ヶ崎会場

茅ヶ崎市博物館　企画展示室
令和９年２月10日（水）～３月10日（水）

休館日　：月曜日
開館時間：９時～17時（入館は16時30分まで）

主催：神奈川県教育委員会、茅ヶ崎市教育委員会、大磯町教育委員会

後援：朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、神奈川新聞社、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、一般社団法人共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK横浜放送局、tvk（テレビ神奈川）、FM ヨコハマ、ラジオ日本、J:COM

本展覧会に関する詳細・お問い合わせは神奈川県埋蔵文化財センターまで　TEL：045-252-8661（平日９時～17時）

神奈川県
埋蔵文化財センター
HP はこちら▶

時代を通じて珍重された中国の焼物

神奈川県では平安時代から江戸時代まで、輸入された中国陶磁を高級品として珍重しており、多くの出土品が発見されている。特に中世前半の鎌倉では青磁・白磁が、中世後半の小田原では青花（染付のこと）が大量に消費されて、それぞれの時代の特徴を示している。東国内でも各時代の中国陶磁が確認できる特色ある地域といえる。その実態を探ってみよう。





鎌倉市若宮大路周辺遺跡群出土の龍泉窯青磁皿（左）と鎌倉市材木座妙長寺裏遺跡出土の青磁香炉（中央）（共に鎌倉市教育委員会所蔵）



小田原城三の丸藩校集成館跡出土の景徳鎮窯青花壺（小田原市教育委員会所蔵）

関連イベント

講演会 ［無料］ ただし右記、事前申込が必要

考古学における陶磁器の専門家が講演を行います。

［第1回］近世遺跡出土貿易陶磁器と日本の価値観形成
講師：堀内秀樹氏（東京大学埋蔵文化財調査室特任研究員）
日時：令和9年1月10日（日） 14時～16時
会場：大磯町郷土資料館 研修室（定員60名）
申込期間：令和8年11月12日（木）～12月17日（木）

［第2回］中世遺跡出土の韓瓶（中国産施釉長胴壺）について
講師：関口広次氏（早稲田大学人間総合研究センター招聘研究員）
日時：令和9年1月24日（日） 14時～16時
会場：大磯町郷土資料館 研修室（定員60名）
申込期間：令和8年12月1日（火）～令和9年1月12日（火）

［第3回］東アジアの中で見た日本の中国磁器流通
ー中世から近世初を中心にー
講師：大橋康二氏（佐賀県立九州陶磁文化館名誉顧問）
日時：令和9年2月21日（日） 14時～16時
会場：茅ヶ崎市コミュニティホール （定員200名）
※展示会場とは別です。茅ヶ崎市役所分庁舎内
申込期間：令和9年1月4日（月）～2月8日（月）

講演会の申込方法 応募者多数の場合は抽選

❶ 神奈川県電子申請システム
かながわの遺跡展 検索

❷ 往復はがき
希望する講演回・開催日・申込者住所・氏名・電話番号をご記入のうえ、1枚につき1名、各回ごと申込みください。

宛先 〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1
神奈川県埋蔵文化財センター

展示解説 ［無料］ 事前申込不要

担当職員による解説 開始10分前に展示会場へ

大磯会場 令和9年1月10日（日）11時～、1月24日（日）11時～、1月30日（土）11時・14時～

茅ヶ崎会場 令和9年2月11日（木・祝日）11時・14時～、2月28日（日）11時・14時～、3月7日（日）11時・14時～

大磯会場

大磯町郷土資料館

〒255-0005 中郡大磯町西小磯446-1 ☎0463-61-4700
［アクセス］JR東海道線「大磯駅」下車 徒歩30分
または 大磯駅からバス「二宮駅行」「湘南大磯住宅行」乗車、「城山公園前」下車 バス停から徒歩5分



茅ヶ崎会場

茅ヶ崎市博物館

〒253-0006 茅ヶ崎市堤3786-1 ☎0467-81-5607
［アクセス］JR相模線「香川駅」下車 徒歩25分
または茅ヶ崎駅北口から神奈中バス「茅50系統文教大学行」「茅03系統湘南ライフタウン行」「湘11系統湘南台駅西口行」乗車、「堤坂下」下車徒歩15分
または茅ヶ崎駅北口から神奈中バス「茅19系統松風台・湘南みずき循環/湘南みずき行」「茅82系統湘南みずき行」乗車、「湘南みずき」下車徒歩10分または香川駅からコミュニティバスえぼし号「北部循環市立病院線」乗車、「浄見寺入口」下車徒歩すぐ※本数が少ないので要確認 ※無料駐車場あり

